

大沼建築の職業奉仕物語

大沼建築は創業以来、「住まいづくりを通じて地域社会の安心と幸福に寄与すること」を使命として歩んできました。単に建物を建てるのではなく、そこに暮らす人々の人生を支える基盤をつくることこそ、私たちが果たすべき職業奉仕であると考えています。

ある冬、ひとり暮らしの高齢女性・佐藤さんから、台所の床が沈んで不安だという相談を受けました。調査すると、床下の土台が著しく劣化しており、早急な補強が必要でした。しかし佐藤さんは、家計を気遣い「最低限だけ直してほしい」と遠慮がちに話されました。

その言葉を受け、若手の社員大工さんが「お客様が言い出せない不安まで想像し、最善を提案することが私たちの務めではないか」と言いました。

その一言に、私は職業人としての原点に立ち返ることができました。

「要望されたことだけをこなすのは仕事である。しかし、相手の立場に立ち、真に必要なことを提案するのが職業奉仕である」と。

そこで私たちは、費用を抑えつつも安全を確保できる施工方法を検討し、佐藤さんに丁寧に説明しました。理解と同意を得た上で、家全体を守るための補強工事を実施しました。社員の大工さんたちは細部まで配慮し、ただ直すのではなく「安心して暮らせる毎日を取り戻していただく」ことを目標に、一つひとつの作業に心を込めてくれました。

引き渡しの日、佐藤さんは「私の生活を本気で守ろうとしてくれたことが伝わりました」と涙ぐみながら言葉をかけてくださいました。その瞬間、職業人としての誇りと、奉仕の精神が報われたように感じました。

大沼建築のこだわり

木づくりにこだわる

手づくりにこだわる

心づくりにこだわる

これからも大沼建築は100年、200年続く「進化する老舗」として建築を通して社会に貢献していきます。